



## 階層別 / 2日研修

Revised

# イノベーション・マネジメント

## 変革を起こすリーダーになるために

- 本研修の概要とねらい  
既存の枠を取り払い、変化を起こせる人材になるための考え方や能力を身につける。
- 主なコンテンツ  
高い目標を掲げ、変革を自ら起こすリーダーになるために、イノベーションのためのモノの見方・活かし方、変革実行プラン、優れたイノベーションプロセス など(詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください)。
- 演習/実習の内容  
1日目の最後に変革実行プランを作成する。  
インターバルの2か月間、課題達成に向けてトライアルを行い、月に一度、ペアの相手とコンタクトを取り、成果に対するコミットを確認しあう。  
2日目の研修ではトライアルの結果について、発表し、振り返りを行う。
- 受講対象(推奨)  
部長、課長、次世代のリーダー職員



一般社団法人 日本経営協会講師  
張 琴(ちょう こと)

立命館大学政策科学部卒業。フリーアナウンサー等を経て現在に至る。

上級コーチング・ファシリテーター認定、FPFトレーナー、SEPコーチ・スーパーバイザー認定、FAマスター認定。コーチング、モチベーション・マネジメント、リーダーシップ力開発、チーム・マネジメント、問題解決能力開発、ロジカルシンキング、などをテーマに自治体・企業・各種団体の研修・講演等で活躍中。

アナウンサー出身らしく、講義は明快で聞きやすく、テンポの良い進行に定評がある。

### 本講師の他の研修

- マネジメント
- コーチング
- キャリアデザイン

# イノベーション・マネジメント

## 2日研修タイムテーブル案

1日目	2日目
<b>開講・オリエンテーション</b> <b>1. イノベーションの本質【討議と解説】</b> (1) 高い目標を掲げ、変革を自ら起こすリーダーになるために (2) 必要な要件を再確認しつつ、挑戦課題を考える。 ①なぜイノベーションが必要か、その本質とは ②イノベーションのためのモノの見方、活かし方 ・「何のために」 ・「誰のために」 ・「どのような価値を生み出すか」	<b>1. 前回の振り返り</b> <b>2. トライアルの発表と共有【発表】</b> トライアルの成果についてチームの中で発表し合う。試行錯誤のプロセスの中で、どのような変化が起こったかを共有するとともに、挑戦課題の軌道修正を図る (1)発表 1人10分 ①何がうまくいったのか、なぜうまくいったのか ②何がうまくいかなかったのか、それはなぜなのか ③何の価値がどれくらい高まったか (2)フィードバックし合う10分
昼食	
<b>2. イノベーションの実践【グループワークと解説】</b> (1) 現状の洗い出しと課題の設定 (2) やっておいでよかったこと、やっておけばよかったこと ①目的・目標を再確認する ②課題達成に向けたアイデアを創出する ③革新を阻む壁を見極める ④変革のための最善行動を決定する ・どのような行動が新たな未来を生み出すか ・期待する成果と効果を数値化する  <b>3. 変革実行プラン【発表】</b> ①ペアの相手を決定する ②インターバルで挑戦すべきテーマとアクションを宣言する  まとめ	<b>3. 優れたイノベーションプロセス【グループワークと解説】</b> 午前中の気づきと学びを活かし、イノベーションを継続させるプロセスと成果を考え、実行プランを立てる (1)個人ワーク ①イノベーションプランの方向性とコンセプトを確立する ②成果につながる具体的な行動を明らかにする (2)グループワーク 各自のイノベーションプランの最善策を再考する ①再現の可能性...チームメンバーが共に遂行できるか ②予測の可能性...インプットとアウトプットが予測可能か ③持続の可能性...持続的な仕組みになりうるか ④拡張の可能性...中長期的にイノベーション領域を拡張していくことができるか  <b>4. 未来への決意【発表】</b> 今後の実行計画と決意を発表する  まとめ

※インターバルの2か月間、課題達成に向けてトライアルを行う。

月に一度、ペアの相手とコンタクトを取り、成果に対するコミットを確認しあう。

### ■本研修を受講した研修生の感想

◆インターバル課題を通じて、変革の難しさと、注意すべき点などがよく分かりました。

### ■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

◆親しみやすい軽快な語り口調が好評の講師です。  
◆研修の間にインターバルを設け、実際に変革のためのトライアルを行っていただきます。

## 本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)  
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319  
URL <http://www.noma.or.jp>